



北海道遺産・北見市指定文化財

ピアソン記念館

第122号

(隔月刊)

発行：2025. 6.10

(令和7年 6月10日)

発行人：中山 一夫（理事長） 編集人：伊藤 悟（副理事長）

NPO 法人ピアソン会事務局
(事務局長 伊藤 悟)
〒090-0036 北見市幸町7丁目4番28号
ピアソン記念館内
Tel. FAX 0157-31-1215
午前9:30～午後4:30
e-mail / pierson@yacht.ocn.ne.jp



会報のバック
ナンバー等は、
左のQRコード
ホームページで
読むことができ
ます。



【写真上】5月28日の通夜の祭壇。中央の写真はワイングラスを持った故水津氏の遺影写真。オホーツクワイン（商標登録名）を生産していた。

【写真下】2014年11月に、北見市との共催で開催された企画展「ピアソン邸100年の歴史」では、実行委員長を務められ、下の写真は記念講演者芹野与幸（向かって右から二人目、ヴォーリズ設計事務所）氏、角幸博（右端）氏、池ノ上真一（左端）、三上修一（中央）氏、とともに記念撮影の水津（向かって左から2番目）氏。



当会現顧問の水津仁郎氏が、本年5月25日、享年百歳の高齢をもって天寿を全う致しました。永年北見市議会議員としてご活躍（1959年から1995年）され、勇退後には当会発足の1998年から会長を、2003年のNPO法人化以降は理事長を2007年まで務め、以降顧問として2014年の企画展「ピアソン邸100年の歴史」展には、実行委員長を務められました。多くの要職を務められた方でした。通夜は5月28日、告別式は29日北見の《いいだ市民斎場》にて執り行われました。ご冥福をお祈りいたします。

当会初代理事長、水津仁郎氏ご逝去の報告！

左の写真は2002年3月、北海道遺産認定22団体が初の全道集会有り、ピアソン記念館を代表して水津会長が挨拶をしている写真です。
ヴォーリズ建築文化全国ネットワークの会合にも多くの会員と共に参加しました。今回の紙面では語りつくせない多くの思い出があります。急な訃報でもあり、今後機会を得て多くの「思い出」を掲載する予定です。



第27回グリーンコンサート開催案内

- ◎開催日時：2025年7月 5日(土) 午後1時より午後3時まで（予定）
- ◎開催場所：ピアソン記念館前庭 北見市幸町7丁目4番28号（雨天の場合中止、当時10時までに決定）
- ◎出演団体：☆北見市立中央小学校プラスバンド部、☆市立北中学校吹奏楽部、☆北見藤高等学校吹奏楽部
☆北見工業大学・日本赤十字北海道看護大吹奏楽部、北見吹奏楽団、5団体出演予定
- ◎その他：鑑賞無料、駐車場は当日使用できませんのでご了承ください。
- ◎問合せ：ピアソン記念館（電話 0157-23-2546）、NPO 法人ピアソン会（0157-31-1215）

通算第27回（法人化第23回）

NPO法人ピアソン会総会終了！

5月31日土曜日、2025年度定期総会を開催。昨年に引き続き、顧問のハード氏がニュージールランドから駆けつけ出席されました。総会参加者は16名。16時半から17時15分までの約45分を昨年度の活動・新年度の活動計画等を議論・審議。最後にハード顧問からピアソン会活動への励ましの言葉をいただき、総会を終了。その後、昨年11月に、姉妹都市のエリザベス市へ姉妹都市提携55周年記念事業として北見市派遣団の一員として、長南幸子ハープ部会長を派遣しましたので、その訪問記録の報告会を開催。約30分、パワーポイント画像での楽しく有意義な交流の報告会でした。今後益々、ピアソンの故郷との交流が深まると思います。

議案の審議

議長に小川清人運営会員を選出し、審議が始まりました。第1号議案の2024年度活動報告・会計報告が事務局からあり、質疑を受けた後、小林清美監査委員から、監査報告がなされ、全員一致で活動報告及び会計報告が承認されました。

次に第2号議案、2025年度事業計画（案）・会計予算（案）の審議に移りました。記念館の管理業務経費は受託事業費で運営。ピアソン記念館自主事業費はピアソン会の独自予算で負担、の説明。

前年度の主な事業内容

2024年5月25日に(出)に前年度の総会を終え、以降定例理事会を毎月1回、月初の第1火曜日に開催

《2024 年度収入決算》

科 目	2024 年度 予 算 額	2024 年度 決 算 額	予算増減
会費収入	280,000	245,000	△35,000
運営会員	75,000	65,000	△10,000
賛助会員	105,000	90,000	△15,000
フレンド会員	0	0	0
団体会員	100,000	90,000	△10,000
寄付金収入	280,000	404,670	124,670
個人寄付	50,000	83,920	33,920
団体寄付	10,000	10,000	0
本の寄付	60,000	120,000	60,000
CDの寄付	10,000	3,000	△7,000
絵葉書の寄付	150,000	187,750	37,750
その他	0	0	0
助成金収入	0	400,000	400,000
北見中央ライオンズクラブ	0	400,000	400,000
委託料収入	5,018,200	5,018,200	0
指定管理委託料	5,018,200	5,018,200	0
その他	0	0	0
前 受 金	0	0	0
雑 収 入	137	34,877	
今年度収入合計	5,578,337	6,102,747	524,410
前年度繰越金	959,663	959,663	0
今年度総収入合計	6,538,000	7,062,410	524,410

し、各種報告事項、議案事項を審議し、ピアソン記念館の運営管理及びピアソン会の自主事業を実施。

記念館の運営では、年間開館数

304日、入館者数は6225名（前年度開館数は、305日。入館

者数は5884名）で、コロナ禍による入館者減現象はもう無くなつたと判断できます。

主な事業としては、

(1)「ふれあい事業」として、年6回の会報「ピアソン便り」発行。

ホームページの月一回の更新実施。ヴォーリズ建築文化全国ネットワークとの交流事業など。

(2)「コンサート事業」では、「第26回グリーンコンサート」をエリザベス市訪問団歓迎として、『姉妹都市提携55周年記念コンサート』として開催しました。



【写真】エリザベス市訪問団4名を迎えるピアソン会会員。

(3)「展示の充実事業」は、恒例となった幼児による「手作りクリスマスツリー」の展示、ハープ部会による、各種リースの館内展示。

北海道庁の赤煉瓦庁舎のリニューアルオープン事業で、2026年度7月オープン『北海道遺産』展示室に、ピアソン夫妻居住時代の想像復元ピアソン邸パーパークラフトを、北見中央ライオンズクラブの助成金にて製作・展示を企画。年間百万人近く訪れる北海道観光の入り口であることから、北見観光の魅力を発信になればと思います。

(4)「その他の事業」では、第41回文化サロン「懐かしのピアソン記念館、思い出コンサート」として、旭川在住クラシックギター奏者の鹿野誠一氏のコンサート。ハープ部会による「ポタニカルキャンプ

科 目	2023 年度 決算額	2024 年度 予算額	2024 年度 決算額	増 減
指定管理受託事業	4,625,648	5,018,200	4,629,284	388,916
人 件 費	3,061,568	3,062,032	3,061,958	74
需要・役務・委託料	1,416,726	1,428,729	1,422,362	6,367
消耗品費	170,737	100,000	158,656	△58,656
燃料費	204,919	191,100	248,258	△57,158
印刷製本費	180,300	180,000	165,800	14,200
光熱水費	228,843	244,832	264,724	△19,892
修繕料	36,036	50,000	7,154	42,846
通信運搬費	52,061	52,200	37,750	14,450
手数料	31,000	39,200	31,000	8,200
委託料	512,830	571,397	509,020	62,377
諸経費	13,300	71,239	9,600	61,639
消費税	134,054	456,200	135,364	320,836
ピアソン会経費	912,310	1,514,400	1,733,245	△218,845
自主事業費	752,152	1,310,000	1,595,499	△285,499
企画展事業	0	0	0	0
出版事業	0	0	0	0
ふれあい事業	388,087	450,000	815,123	△365,123
コンサート事業	109,490	150,000	86,362	63,638
展示の充実事業	20,602	390,000	381,787	8,213
その他の事業	233,973	320,000	312,227	7,773
ピアソン会事務費	160,158	204,400	137,746	66,654
事務経費	6,990	30,000	1,501	28,499
通信費	83,030	90,000	79,174	10,826
会議費	40,138	60,000	52,671	7,329
旅費	0	0	0	0
雑費	30,000	24,400	4,400	20,000
予備費	0	5,400	0	5,400
今年度支出合計	5,537,958	6,538,000	6,362,529	175,471

前年度繰越 959,663 円 + 今年度収入 6,102,747 円 -
今年度支出合計 6,362,529 円 = 次年度への繰越 699,881 円

《支出の部》

科 目	2024 年度	2024 年度	2025 年度
	予算額	決算額	予算額
指定管理受託事業	5,018,200	4,629,284	5,018,200
人件費	3,062,032	3,061,958	3,062,032
需要・役務・委託料	1,428,729	1,422,362	1,428,729
消耗品費	100,000	158,656	100,000
燃料費	191,100	248,258	191,100
印刷製本費	180,000	165,800	180,000
光熱水費	244,832	264,724	244,832
修繕費	50,000	7,154	50,000
通信運搬費	52,200	37,750	52,200
手数料	39,200	31,000	39,200
委託料	571,397	509,020	571,397
諸経費	71,239	9,600	71,239
消費税	456,200	135,364	456,200
ピアノン会費	1,514,400	1,733,245	1,270,000
自主事業費	1,310,000	1,595,499	1,120,000
企画展事業	0	0	0
出版事業	0	0	300,000
ふれあい事業	450,000	815,123	400,000
コンサート事業	150,000	86,362	150,000
展示の充実事業	390,000	381,787	50,000
その他の事業	320,000	312,227	220,000
ピアノン会事務費	204,400	137,746	150,000
事務経費	30,000	1,501	10,000
通信費	90,000	79,174	80,000
会議費	60,000	52,671	40,000
旅費	0	0	0
雑費	24,400	4,400	20,000
予備費	5,400	0	800
支出合計	6,538,000	6,362,529	6,289,000

文化活動事業を自主事業として継続的に開催する。そのためハープ研究部会への活動促進のため助成を継続する。

(7)「その他の事業」

(1)ピアノン会の中に「ハープ研究部会」のように、各種の目的別のサークルを創設し、ピアノン記念館の文化活動を積極的にに行い、魅力ある記念館として存続するよう利用者の輪を更に広げる。

(1)「指定管理受託事業」の継続

北見市から指名を受けた指定管理者として、北見市指定文化財及び北海道遺産の選定施設としての意義を正しく伝えると共に、記念

(2)「出版事業」の継続

館の適正な管理運営業務にあたる。ピアノン記念館に展示しているピアノンブックレット出版にむけ

(6)「文化サロン&ピアノン」

ピアノン記念館が柏樹荘と呼ばれた時代の文化芸術の活動に学び、文化活動事業を自主事業として継続的に開催する。そのためハープ研究部会への活動促進のため助成を継続する。

2025 年度会計予算

《収入の部》

科 目	2024 年度	2024 年度	2025 年度
	予算額	決算額	予算額
会費収入	280,000	245,000	240,000
運営会員	75,000	65,000	60,000
賛助会員	105,000	90,000	90,000
フレンド会員	0	0	0
団体会員	100,000	90,000	90,000
寄付金収入	280,000	404,670	330,000
個人寄付	50,000	83,920	60,000
団体寄付	10,000	10,000	10,000
本の寄付	60,000	120,000	100,000
CDの寄付	10,000	3,000	6,000
絵葉書の寄付等	150,000	187,750	154,000
その他	0	0	0
助成金収入	0	400,000	0
助成金	0	400,000	0
委託料収入	5,018,200	5,018,200	5,018,200
指定管理委託料	5,018,200	5,018,200	5,018,200
その他委託料	0	0	0
前受金	0	0	0
雑収入	137	34,803	993
繰越金	959,663	959,663	699,807
収入合計	6,538,000	7,062,336	6,289,000

(5)「コンサート事業」の継続

グリーンコンサートを市民に定着した開かれたコンサートとして開催する。

(4)「ふれあい事業」の継続

会報「ピアノン便り」を充実させ年6回の発行継続。ただし、郵便料高騰もあり、部数の減を検討。さらに、「ヴォーリス建築文化全国ネットワーク」及び「北海道遺産」の各関係団体との交流を積極的に進める。

(3)「展示物の充実」の推進

二階展示物をアクリルフレームを使用し充実させる。北海道赤れんが庁舎リニューアルオープン北海道遺産展示への協力。

ル製作講習会」・「クリスマスリース講習会」など。

新年度事業・予算について

「ピアノン学事始め」

22

この「ピアノン学事始め」は、22年前に街の情報誌に書かれたものですが、少し手を加え年号なども修正し改稿として連載しています。

(22) ピアソン夫妻、十勝監獄への伝道

伊藤 悟

ピアノン夫妻は、明治三十八年に一時帰国していたアメリカから旭川に戻り、留守中に流言飛語で打撃をうけ少なくなった教会員の増強や、日曜学校の復活を図り、一段落した一年後には地方への伝道活動を計画していました。そんなところへ、帯広の十勝監獄の典獄（監長）である黒木鯉太郎からの使者が、明治三十七年一月に坂本直寛牧師とピアノン宣教師を訪ねて来ました。

二〇〇三年の十一月に発行された「十勝の監獄」副題「十勝自営会創立百周年」によりますと、《黒木典獄は熱心なキリスト者であり、何とかキリスト教の教師を採用したかったが叶わず、白井・吉野の両職員を旭川に派遣した》とあります。ピアノンと坂本直寛は快くその申し出を受けることにしたのでした。



【写真右】黒木鯉太郎（くろぎこんたろう）…一八五二年四月二十三日生まれ、大分県土佐出身。明治三十六年五才で第七代十勝分監長に就任し、二ヶ月後には、昇格した十勝監獄の初代典獄となる。明治四十一年八月に青森監獄へ転出。黒木典獄は、長老教会の熱心な教会員であった。

クリスチャンであった白井看守が明治四十年六月に「福音新報」へ送った記事によりますと、《現在の受刑者は九九〇人を越えます。そのうち

記事正

前回会報121号2ページ「北光社で薄荷栽培」の誤り？についての記事で、「後に札幌の北一条教会の牧師になっている。」と書きましたが正しくは「札幌の北一条教会の牧師を辞めて、学田農場監督になった。」の誤りです。

「ニュージールランドからの便り」第51回



ピアソン会顧問 グラハム・ハード氏

2025.3.24(月)

◆多分、雪も消え始め、春の兆しでしょう。ここニュージールランドでは秋に向かいながらも暑く、乾燥しています。今日はいくぶん涼しいですが、昨日は真夏のようにでした。北島の多くは早魃で、農家は雨を渴望しています。ファンガヌイから持ち帰った梨は今や完熟です。スチュウにしてもそのままでも、どちらも美味しい。

◆先週、弟のマーレイとオークランドの聖ジョウズ神学大学図書館へ行きました。私たちの先祖、宣教師ジョン・ホップス関係の歴史的な書簡や記録などを見るため、一番古い記録は1830年代まで遡ります。それらを自分たちの手にとり、彼らの努力や試行錯誤、また直面する試練などを直に読んで、感動しました。

◆当時のニュージールランドは遠隔、未開の危険な地でした。ホップスは実践的な知識や深い信仰の持ち主で、彼も妻も、極めて勇気があり、マオリの人々に福音を深めることに献身しました。ピアソン夫妻のように、失望や挫折も味わいました。

◆今年も、5月、6月の北海道訪

問を予約しました。5月14日、千歳空港着、6月25日ニュージールランドへ。札幌から北見へはJRで5月23日発、6月2日札幌へ。ピアソン会の方々とESSの方々が都合がよく、お会いできれば良いのですが。再会を楽しみにしています。ごきげんよう、
グラハム・ハード

2025.3.31(月)

◆日本への旅が近づいて、楽しみです。今週末曜日、弟のマーレイと一緒にファンガヌイへ1週間の予定で出かけます。りんごが少しは有るかと思いますが、あまり期待できません。

2025.4.12(土)

◆手帳に、ピアソン会総会・5月31日(土)と記録しました。

◆木曜午後、弟と楽しい時間を過ごし、戻りました。サージアント・アート・ギャラリーと博物館を訪れましたが、そこには、マオリの素晴らしい芸術作品と地元の開拓の歴史が見えました。また、その土地固有の鳥類とその鳴き声が録音されていました。とても嬉しかったのは、ファンガヌイ(故郷)の自宅の近くで時々耳にしていた心

地よい鳴き声が、美しいカッコウの声だと分かったことでした。

2025.5.3(土)

◆ピアソン会総会への丁寧なご案内状をありがとうございます。再会を楽しみにしています。

◆昨日は雷と稲光の凄まじい天候でした。今日は少し落ち着きました。涼しいけれど強い南風が吹いています。オコロマイ湾上パラセイリングはできません。集まっているセイル(帆)はカラフルですー 赤、青、緑、黄色など。

2025.5.15(木)

◆昨夜無事に札幌へ着きました。天候は良く、この地にあつて嬉しい気持ちです。北見への時刻、決まり次第お知らせします。

2025.5.19(月)

◆北海道にいられるのが嬉しいです。JRの日程をお知らせします。まもなく再会できます。



【写真】5月31日ハード氏を迎えて懇親会

2025 年度会費納入のお願い

① 運営会員(会費 5,000 円) ② 賛助会員(会費 3,000 円) ③ 団体会員(会費 10,000 円)

● 郵便振替の場合: 振替用紙で窓口手続きは 203 円、ATM 振込では 152 円です。

郵便銀行間の場合: 本人口座よりピアソン口座へは、110 円で振込できます。

記号/ 19910 番号/ 9509351 口座名: 特定非営利活動法人ピアソン会

他行から、普通預金【口座番号】9509351 【店名】九九八 で、本人銀行手数料。

● 北見信金振込は: 北見信用金庫本店営業部から ATM での扱いで、同一本店内無料。

特定非営利活動法人ピアソン会、普通口座番号/ 1018723 他支店からは 110 円。

● 北海道労働金庫北見支店: 同一支店内無料。他支店からは 110 円。 ※ピアソン会(ピアソン記念館)へ直接納付も可能。

特定非営利活動法人ピアソン会、普通預金口座番号/ 1035638 手数料はかかりません!



編集後記

総会が終了しました。新しい事業が始まります。また、新しい役員も承認されましたが、現顧問であった初代理事長の水津仁郎氏のご逝去されましたので退任となります。また、理事を務められていた森下一彦氏、監査の森下真裕美さんは、札幌転居のため役員を退任されました。今までのお力合いを感謝申し上げます。

新年度になり、特段会の活動が変わることはないのですが、事務局体制の補充強化を痛切に感じています。その準備を今年度中に整えることも総会で確認されています。今後とも会員の皆様のご協力をよろしく願います。

6月の会報は、総会終了後に発行されますので、今回の発行は6月10日となります。ご了承ください。若干早めに発送を予定しています。

北見市の財政が厳しいこともあり、ボランティア団体が市政の補助機関として益々力を発揮しなくてはならないと考えます。ご協力よろしく願います。

(副理事長兼事務局長 伊藤 悟)

瞳ふあっしょん・瞳けあ

めがね @ よっしー

代表 岩井 敏 忠

〒090-0043 北海道北見市北3条西3丁目

携帯. 090-2693-1919 TEL. 0157-57-3664

定休日/毎週木曜日・営業時間/10時~19時